



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Show Rotary Cares・『ロータリーの心を』

1997～98年度・国際ロータリーテーマ／グレンW・キンロス会長

『ロータリーの原点』に立ち『新鮮な眼でクラブライフを』

1997～98年度・東京新南ロータリークラブテーマ／武下 朗会長

◎本日の例会

2月20日第548回例会
18:00～20:00

☐夜間例会／レディス・デー

卓話 「筆跡と人間性」

日本筆跡診断士協会会長
相藝会書道教育学院院長 森岡 恒舟 氏

◎先々週報告

2月6日第546回例会

☐幹事報告

①来週の例会(2/13)は千代田分区IM(2/12)に振替です。又、2月20日の例会は夜間例会となります。

②今年度の地区大会は3月19,20日の両日新高輪プリンスホテル・国際館パミールで開催されます。3月20日例会は振替となります。

☐SAA報告(吉岡SAA)

①2月～3月の着席は、アルファベット順にさせていただきます。

②例会の出席について、例会の点鐘時間の厳守のためにも、遅くとも12時20分迄には出席する様ご協力下さい。

③3月19日、20日の地区大会登録料5000円を徴収させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

☐慶事披露●誕生日祝／関 征春君(2月7日)、小原 渉君(2月11日)、大山啓人君(2月13日)、島田昌雄君(2月15日)、斉藤茂之君(2月18日)

●100%出席／田辺賢三君(12年)、柴本芳郎君(10年)、宮武保義君(8年)

☐出席報告●会員72名／出席51名・欠席21名・出席規定免除者1名

ビクター(5名・敬称略・順不同)／高野 十(仙台)、石黒 康(東京五反田)、藤井浩一(東京中央)、眞田幸知(東京芝)、島村明定(東京南)

ロータリー3分情報(田辺情報委員長)

ロータリー情報と云えるものではありませんが、ニコニコにまつわる逸話をご紹介します。
王冠を賭けたシンプソン夫人との恋で王位を去った英国王はエドワード8世で、そのあとを受けて王位についたのが、弟のジョージ6世でした。現在のクイーン・エリザベスの父です。

このジョージ6世がまだプリンスの頃のある日、ヨハネスブルグRC主催のインターシティ・フォーラム(IMの前身)に出席しました。その席でプリンス・ジョージは、「私は、たまたま天の配剤により皇族に生まれ、皆さんから、手厚いもてなしを受けている。そこで今日は私もニコニコ・ボックスに寄付をしたい。」と云って、ポケットに手を入れたがお金を持っておりません。すると会員の一人がすかさず「殿下、私がお金をお貸ししましょう。」と云ってHalf-Crown(2シリング6ペンス)銀貨を差し出しました。プリンスは、にっこり、「お借りします。」と云って受け取り、ニコニコ・ボックスに入れましたが、しばらくすると、SAAがこの銀貨を額に入れて現われ「これはプリンス・ジョージが借金をした世にも珍しい銀貨です。これを競売にかけたいが、如何でしょう。」会場がどっと沸いて競売が始まり誰かが1ポンドか2ポンドで落札しました。

こんどは会長が「これはめでたい。ジョージという名の会員はプリンスにあやかって、みんなニコニコに入れたらどうか。」と提案したところ、即座にジョージ名の会員から1ポンドづつ集まりました。英国にはジョージという名前が多いので、残った会員も黙っていらなくなり、自分もあやからせてほしいと、結局出席者全員がニコニコに寄付をする事になったという実話です。



2月6日/12件 57,000円

97～98年度累計 1,614,432円

多額のご寄付を有難うございます。

(順不同、敬称略)

村野順三(ガバナーノミニ)／先週(1/30)卓話のお車代をニコニコにいただきました。
島村明定(東京南)／今年もメーキャップよろしくお願いします。福島賢哉／今日はイニシエーションです。ご拝聴の程、お願いします。柴本芳郎／10年100%出席(通算16年)感謝します。
宮武保義／入会以来満8年、休まずこれたことに感謝して。島田昌雄／誕生日祝ありがとうございます。66才になりました。関 征春／明日54才になります。これからもよろしくお願いします。山下忠治／島田さん立派な髭が完成しましたね。明治の元勲のようです。柴田尚毅／久しぶりです。佐々木忠行／高須さん、火曜会御苦勞様でした。小杉真史／今月会報を担当しておりますが皆様にご迷惑をおかけしており申し訳ございません。新保國彦／久しぶりのニコニコ担当です。ご協力ありがとうございました。

◎次週予告

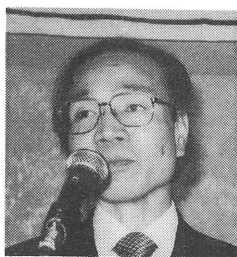
2月27日第549回例会

☐卓話予定「ロータリー創立記念日に思うこと」

東京北ロータリークラブ
第2580地区バストガバナー 加美山 節 氏

回卓話 イニシエーション スピーチ「設計のはなしあれこれ」

2月6日第546回例会



福島 賢哉 君

建築設計や内装設計を行うには、公的な資格が必要なものがあります。建築設計は、構造、規模・床面積によって一級、二級、木造建築士の3種類の資格があります。この内、オールマイティは、建設大臣免許の一級建築士で住宅から超高層ビルまで建物の全ての設計

と工事監理が出来ます。また内装設計では、インテリアコーディネーター、インテリアプランナー等の資格がありますが、顧客への信頼の裏付けの側面はありますが今のところ法規的な義務付けはありません。データによれば建築士の有資格者数は、全建築士の数で約84万名。一級建築士は、3割の約26万名、これはちょうど医師数とほぼ同数に当たります。10万人の人口比率では540人に1人の勘定です。また、全国の設計事務所数は、法人、個人を含めて約13万事務所あり、この内一級建築士事務所は、全体の6.5割で約8万4千事務所を占めています。設計監理が、専業か兼業（ゼネコン、不動産業者等）かの割合は掴めていないのですが、建設会社は、設計施工が多いので過半数近くを占めていると言われています。また、建築士事務所の規模は、10人以下の小規模事務所が全体の約9割であり個人経営が6割、平均5.2人、組織化された大中規模事務所は一握りとなっています。

ところで、私の事務所では、お年寄りや障害者の施設、病院といった建物の設計が多いのですが、ここ数年これらの設計に注目を集めるようになりました。社会福祉施設と呼ばれる建物・施設は、概ね国を含む行政の福祉計画に基づいて設置ができるか否かが判断されています。一言に社会福祉施設と言っても「老人福祉」「障害者福祉」などに大きく分かれそれぞれ全国的な需要、つまり入所を待っている待機者数、これからの高齢化率などを

当クラブ会員
㈱賢プランズ設計事務所代表取締役社長 福島 賢哉 君

基に施設数が割出されています。「老人福祉」特に一般に知られている「新ゴールドプラン」と呼ばれる高齢者保険福祉推進10ヶ年戦略では、来年度（平成11年）の期限までに特別養護老人ホームを始めケアハウス、老人保健施設等のハード面はほぼ目標値の達成が整いつつあります。これとともに人的介護のためのホームヘルパー等の要請もここに来て順調に目標値に近付いているようです。ただ、2025年には国民の4人に1人が高齢者（65才以上）となり少子化とともに施設の不足は、今後まだまだ続くため、継続的な設備の必要性が叫ばれています。

「障害者福祉」は、老人福祉ほどに行動指針が明確ではありませんが、平成14年度までに、施設面で精神薄弱者更生施設や身障害者療護施設等の設備が今の3倍ほどに目標値が示されています。

社会福祉施設は、政治の仕組みや制度でその枠組みがつくられるため、なかなか設計上の制約を簡単には変えられませんが、設計者として既存の建物の検証を自ら体験し創意工夫を心掛け、人の触れ合いを大切により豊かで快適な空間の設計を目指したいと思います。注文住宅のような手作りの暖かさが求められているとも感じました。

最近の世の風潮として若い人達は、極論として物マネやコピーで事を済ませる時代ではないかと感じる人が多い。本来建築は、安易なコピーから創造されるものではありません。人も十人十色の顔と考えがあるように建築も多様なニーズの上にスケッチの段階からその目的により建物の利用者、その置かれた地域性、町並みとの関わりを大事に1本の線から組立てられ設計図となり生まれて行くものです。私を始め次世代を担う設計者にとって、建物への思い入れに経験、技術力を精一杯だし心を込めて設計・創造する大切さを持ち続けることこそが求められています。

回2月火曜会報告

暮れ泥む東京タワーの夜景を窓外に望みながら三々五々集う人々の楽しい会話のうちに今月の火曜会が始まりました。定刻の6時半には小杉（眞）会員の名司会によりパネラーの高須親睦活動委員会委員長の紹介の後に「私の苦楽部ライフ」と題してスピーチがありました。

父上が南クラブのメンバーであった関係でアメリカでホームステイし、その家庭で暖かく迎えられた思い出がロータリークラブへの入会をスムーズに決意させた。財団奨学生セリン・コウさんのカウンセラーを務めたときに家庭的なもてなしができたこと。関西の出身なので東京では仕事の付き合いしかなかったが、ロータリークラブで仕事以外の人との交流ができて良かった。現親睦活動委員長として旅行会、忘年家族会に大勢の参加者があり暖かい心の通じ合いが感じられた。等々タイトルとは裏腹に入会から現在までの楽しいクラブライフを真摯に語られました。

苦しみを表出しない温かさの中に厳しさを感じさせる

トップ経営者の風格を窺えるお話でした。

圓谷さんからの「8年間皆出席には仕事、家庭の犠牲があったと思うが、それを駆り立たすものは何か」という質問に答えて、「メーキャップに行くと日頃会えない人に会えるという楽しみがあるので100%出席が続けられた」という答えがあり、宮武会員からも地方でのメーキャップの楽しさが披露されました。

雑談に入り、火曜会では女房のグチやうまく行かない仕事の話など、もっと本音で話し合える雰囲気を作り新しい会員を多く迎えたいという結論で締めくくられました。3月には一人でも多くの新しい会員を迎え、有益で楽しい雰囲気に浸って頂きたいという思いを強くした今月の火曜会でした。

（田中記）

出席者／村川、武下、宮武、大日方、青野、吉田、小杉（眞）、谷村、川鍋、河原、高須、佐藤、圓谷、宮本、岩瀬、佐々木、吉岡、相澤、田中、

（敬称略・順不同、以上19名）

◎先週報告

2月13日第547回例会

回97～98年度RI第2750地区千代田分区IM(2月12日)に振替

出席報告●会員72名／出席45名・欠席27名・出席規定免除者1名

回97～98年度2750地区千代田分区IM報告

97～98年度国際ロータリー第2750地区千代田分区IMが2月12日(木)帝国ホテルで開催されました。今回のホストクラブは東京中央ロータリークラブで、予め用意された着席票に従って他クラブの方と肩を並べて席に着くといったような工夫が随所にみられました。

定刻丁度に、点鐘、ロータリーソングと始まり、ホストクラブ会長挨拶、来賓紹介、参加クラブ会長・幹事紹介、地区ガバナー挨拶と続き、フォーラムの第1部では「ロータリーに関するアンケート結果発表および討議」が行われました。ホストクラブの阿部プログラム委員長により、先に行われたアンケート結果について、プロジェクターなども利用しながら詳細な報告が行われました。報告資料にもあるとおり、千代田分区の13クラブ1558名から887名の協力を得て(回収率56.9%)、「ロータリークラブに関する意識調査」を実施したもので、従来これに匹敵するものが無い画期的な企画であったと思われます。「クラブは楽しいか」、「クラブを退会したいと思ったことがあるか」など、ストレートな設問が中心で、ロー

タリアンの現状を知る上で極めて有意義な結果が得られたとの評価があり、さらにクラブに持ち帰ってクラブフォーラムなどで是非討議を深めて欲しいとのコメントも会場から寄せられました。

第2部では、「ロータリアンは今何をすべきか」というテーマで、前半に若手ロータリアン3名からの発表、後半は3名の会長による鼎談が行われました。若手3名の発表に対しては、自分の考えをきっちりと述べている、ということで高い評価がされていました。会長による鼎談では、財政問題、増強問題が課題であることが指摘されました。岩井ガバナーからは、地区の報告を13項目にまとめ、村野ガバナーノミニに引継いでおり、RIの方針と地区の現状とのギャップを埋めることの難しさを痛感していること、アンケートは誠に有意義な試みであったとの所感をいただきました。

最後に、懇親パーティーでは村野ガバナーノミニの力強い挨拶に会場は大いに盛り上がり、千代田分区の元気を印象づける大会でした。(小杉(眞)、村山記)



ホストクラブ中央RC野波会長挨拶



会場風景



参加クラブ会長、幹事紹介

回港区福祉施設からの礼状ならびに写真

先にご報告致しましたが、忘年家族会チャリティーバザーの収益金を港区の私的福祉施設へ寄付に参りました際の写真、および風の子会、みなと工房からのお礼状を、以下に紹介させていただきます。

風の子会花田政国会長からのお礼状

拝啓 寒さも一段と厳しくなって参りました。クラブの皆様にはご健勝の事とお慶び申し上げます。扱、比の度は当会へ過分なるお心遣いを賜わり厚く御礼申し上げます。頂きましたご寄付は、当会の活動資金として、大切に使用させていただきます。

今後共、宜しくご指導の程お願い申し上げます。領収証を同封させて頂きましたのでお納め下さい。 敬具



風の子会



みなと工房



西麻布作業所

お知らせ

98～99年度版「ロータリー全国会員名簿」「ロータリー手帳」発行

「全国会員名簿」1組7,500円。(消費税別) 8月中旬配布予定

「ロータリー手帳」1部600円() 5月中旬配布予定

ご購入の申込みは2月20日(金)までに事務局へお願い申し上げます。

2月は

世界理解月間

です

世界理解月間(World Understanding Month)

「世界理解月間」は特別月間として毎年2月に実施される。同月間中、クラブは、世界平和に不可欠なものとして、理解と親善を特に強調するクラブ・プログラムと活動を実施し、世界社会奉仕を中心としたプログラムを行うよう要請されている。

上半期の活動を振り返って(2)

SAA委員会

SAA 吉岡 琢磨

明るく楽しい品位と秩序の保たれた例会運営を目標としてSAAは、取り組みました。

例会の時間厳守も皆様にお願ひし、ご協力して頂き感謝致しております。食事の方も出来る限り低カロリーのメニューも考慮して、月1回の和食も試しに始めてみました。不評のデザートのカキは中止しました。

又、故田島会員の寄付金を使わせて頂き、例会場の歌詞のパネル6枚と四つのテストパネル1枚を新しく製作し、書庫も購入させて頂きました。今後大切に使用させて頂きます。ニコニコの寄付金は皆様のご協力で予想をはるかに上回り、大変有難く思っております。

下期も楽しい例会作りを目指してSAA全員で精一杯努力していくつもりです。宜しくお願いします。

親睦活動委員会

委員長 高須 康有

当委員会は、簡素でも心温まる、みんなに会える楽しい親睦を活動目標としています。例会での受付、会計、来客紹介及びテーブル毎の来客紹介も各委員に分担していただき、円滑に行なわれています。

火曜会は、年間テーマを「クラブライフを語り合おう」とし、歴代親睦委員長より、ロータリー観やご自身のクラブライフについてお話を頂き、気軽にでやかな雰囲気での会として回を重ねています。ただ、やや参加者が固定している傾向が感じられ、広くご参加頂けるよう努めて参りたいと思います。

8月に屋形船による景気払いの会、11月に福島への親睦旅行会(職業奉仕委員会共催)、12月の忘年家族会を実施し、それぞれ多数なるご参加を得ることができ、この上ない喜びであります。会員ご家族を含めての親睦が深められたものと感じております。今後多くの会員のご意見を取り入れながら企画して参りたいと思いますので、引き続き多くのご参加を頂けますようお願い致します。

雑誌委員会

委員長 川鍋 二郎

上半期は「ロータリーの友」に一層親しんで頂くため活動計画に沿って、昨年同様担当月毎に各委員から適宜選別した記事を例会にて皆様にご紹介してまいりました。多少のマンネリ化と短時間内でのご紹介というところで、その効果の程は必らずしも満足するものでなかったのではないかと反省している今日この頃です。

また当委員会では昨年の9月に「ロータリーの友」について皆様のご協力のもとアンケート調査を実施致しました。(集計結果は昨年のNo515週報に報告済み)。このアンケートは2～3年毎に実施すると会員の「ロータリーの友」に対する関心度の変化が把握できて、委員会活動のあり方にも役にたつのではないかと考えています。

なかなか妙案がなく頭の痛いところですが下半期においては上記アンケート調査の結果にもある通り、読んで頂く頻度は現状を下げることなく、また読み方として全体をより熟読して頂けるような工夫をしながら頑張りたいと思っております。皆様にも何かこれぞと思うグッドアイデアがございましたら、是非お聞かせ願えればと考えておりますのでどうぞヨロシク!!

職業奉仕委員会

委員長 伊部 和夫

ロータリークラブの原点は「個人が自らの職業を通じて社会に奉仕すること」であり、その基盤となっているのが企業倫理と考える。頻発する一流企業、官僚等による不祥事件をみるにつけ企業倫理再認識の必要性を痛感する。この為には企業倫理の現状把握が先ず必要で、これが将来への展望につながるかと考え、ガバナー公式訪問時の第3回クラブ協議会のテーマを「職業奉仕からみた

企業倫理の現状」とした。その内容としては

- (1)麗澤大学のデータに基づく米国と日本との企業倫理に関する意識・動向比較。(米国は日本より20年は進んでいると云われている。)
- (2)新しい試みとして実施した当クラブ会員の企業倫理に関するアンケート調査の内容分析。
- (3)意見交換。

皆様のご協力により、まづまづの結果であったと思います。ガバナーからお褒めの言葉を戴きました。このクラブ協議会を通じて分かったことは、企業倫理についての意識は日米間でそんなに大きな違いは認められないが、環境の相違が大きいことである。米国の場合企業倫理を守らないと、企業が存続出来ないような環境が出来上がりつつあるのに対し、日本の場合そうした社会的制約が存在せず、個人の考え方が大きな比重を占め、個人の倫理感が重要なことを痛感した次第である。

地域社会調査委員会

委員長 馬場 一廣

当委員会は新設されて3年目に入った。過去2年間は渡邊前委員長のもとで、スタートにあたっての基礎づくりをしながら、調整の対象をボランティア港区の福祉に焦点をあわせて調整を行ない、社会奉仕活動に多大の貢献をしたことは皆さんご承知のところである。

さて、今年は地域社会のニーズのどこに焦点をあわせ、且つ、どういう方法で調査を行なうかを機会あるごとに話し合ってきました。その結果、つぎの如き構想をまとめました。

1. 調査の対象

今年もボランティアを対象とするが、その中でも教育の分野におけるボランティアに眼を向けてみようというわけです。ボランティアと一概にいても大変広いもので、通常福祉がすぐ連想されるわけですが、難しいことは承知で、教育に眼を向けてみようというものです。

2. 調査の方法

教育といえば、本来行政が所管しているわけであり、ボランティアは行政が手の届かないあるいは行政では出来ない分野がその対象となるわけですので、まずは文部省港区の教育委員会にあたって情報を収集することから始めよう決めました。

3. 現在までの調査状況

①文部省

文部省生涯学習振興課寺田課長他、文部省の中でボランティアに関わる事業を担当している人々と、懇談をもちました。当委員会から提起した問題は「教育はボランティアの対象たり得るか」でした。

②港区教育委員会

近々に面談すべく日程調査中であります。

会員増強委員会

委員長 宮本 正祥

ロータリーの最大の資産は、常に個々のロータリアンです。(キンロスRI会長)クラブの成長と活性化のためには継続した会員増強が不可欠です。増強委員会としては、地区のガイドライン「10%の増強=7名」を目標として活動して来ております。しかし現状の情勢は、入会者を見つけるのが困難な状態であり、一層の努力が必要で。

1. 上半期に入会された会員は下記の5名(入会日)です。福島賢哉会員(97.7.25)、圓谷正和会員(97.8.22)、大山啓人会員(97.9.19)、水原信太郎会員(97.9.26)、ティエリ・コンソニ会員(97.11.14)
2. 上半期に退会された会員は杉山好一郎氏(97.12.12)、坂本 實氏(97.12.31)の2名(退会日)です。

東京新南ロータリークラブ

会長:武下 朗 副会長:山下忠治 幹事:渡部一元

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

<会報委員>

新保 國彦、荒木 昭文、廣瀬 哲久、
青野 信次、宮川 弘信、開発 英基、
田中 武、小杉 眞史、川鍋 二郎、
立林 英昭、吉田 用親、村山 公士

(編集担当順)